

1980年2月号

1980年2月5日発行(毎月1回5日発行)

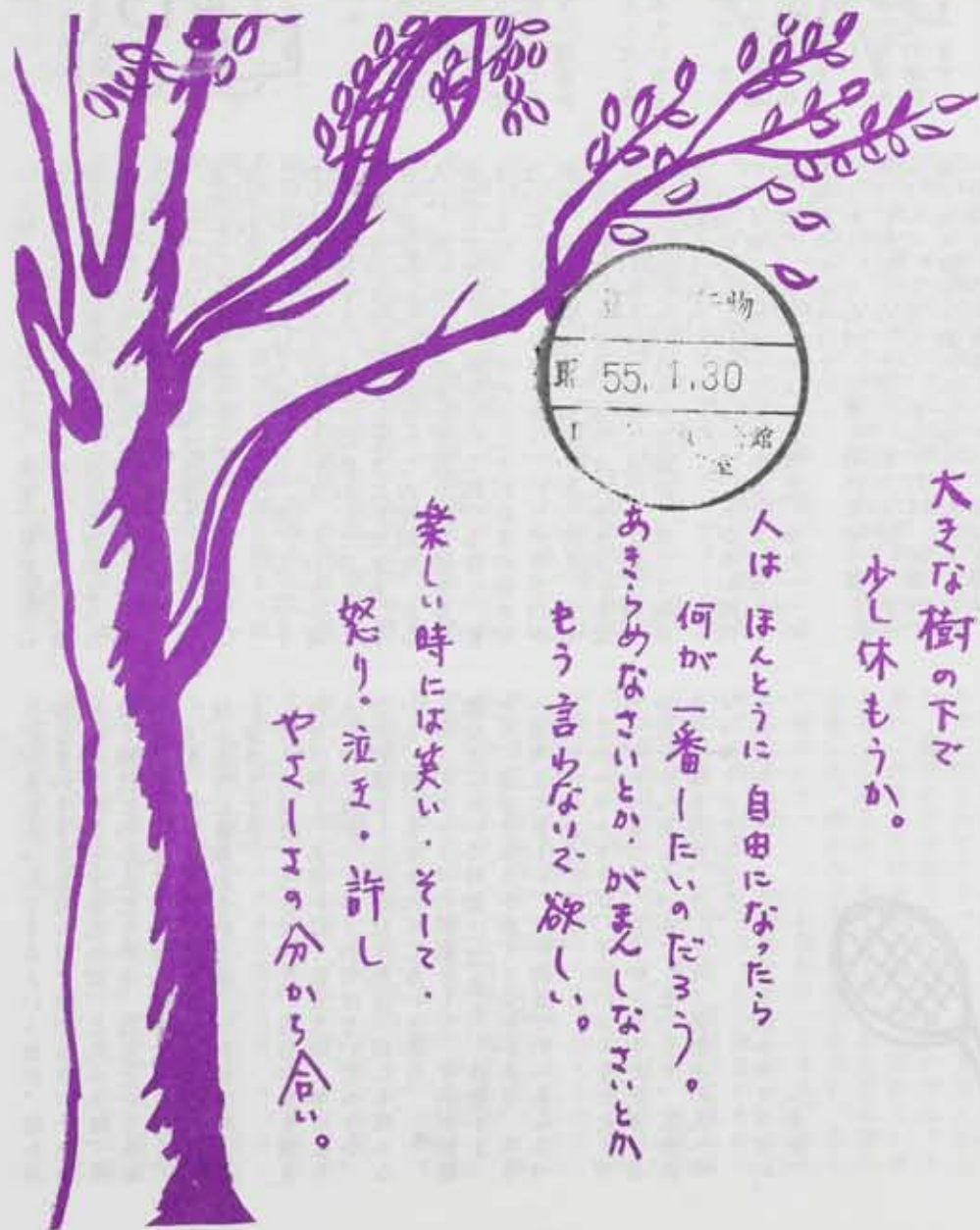
No.45

あんふあんて

発行人／
定価／100えん 振替口座／

発行所／あんふあんて出版部

あんふあんての空



忘れかけてしまった感性へ

大きな樹の下で

少し休もうか。

人はほんとうに自由になったら

何が一番いいんだろう。

あまうめなさいとか、がまんなさとか

もう言わないで欲しい。

楽しい時には笑い、そして、

怒り、泣き、許し

やさしい、分かってほしい。

あんふあんての目

＝新しい出発点＝



私の子供は、六才と四才。今、やっと少しづつ手が離れかけたところ。三時間おきの授乳や、手づかみ、ちらかしほうだいのお食事。かた時も目が離れないヨチヨチ歩き時代。言葉が通じ合わなくて、お互いが泣きだすような時。そんな時が今、少しずつ遠ざかる。

会員の中にも、そういう人が、だんだん多くなって、そして会をやめてゆく人もいっていると聞く。
あんふあんてするというのが、ただ、たいへんな子育て時期を預かり合いにより、乗り越えてゆくという事だけでは、幼稚園や小学校の時期がくればやめてゆくという事でもてくるだろう。それが、子育てと言いたいへんな時だからではなく、そんな時期でも何かを産みだす事、あんふあんてする事への確認があれば、それは、一生続けてゆくべきテーマではないだろうか。

いた時「なぜ、女だけが、家事、育児をやらねばならないのか」——このたった一つの疑問は、波紋が波紋を呼び、自分がどのような社会状況にいるかを考えさせられ、いろんな人と、イキイキと生きる事を模索する中で、初めて、いろんな事が見えて来た。そういう意味において、子育てによって、私は成長させられたと思う。
しかし、子供は人間であり、今、ここで子育てが終わったとは言えないが、いつしか成長し、親離れし、子育ては終わってゆく。
今、そのきざしが見えてきたのである。子育て真最中から一歩過ぎたこの時期を、ある人は「個に帰れる時期だ」と思う。生活も多少安定して来るし、中年という程でもなく、若さ——といっても、十代や二十代前半の若さでないにしても、エネルギー、バイタリティーがあり、自分の好みも、自分のやり方も、なんとなく決まってくる。さりとて生きがいとなるものがわからず、何をしようかと迷う時でもある。自分というモノを改めて考えてみるのよね」と言う。
近頃のように、子供が一人二人が多い時代の、子育てと老後の谷間であると言われた、30代、40代にの入口にきた。また一つの出発時なのかもしれない。
しかし、それは、子育て時代と切り離れた所では存在しないと思う。私たちは、「あんふあんて」を通じて、ともすれば、閉鎖的で親子共々欲求不満のかたまりになりそうなの時期を、共同保育、ヘルパー制など形は、様々なれど、いろいろ工夫した子育て時代をつくって来たではないか。さっきも言ったよ



(永田)

からだの おしゃべり



避妊

ベッサリーのことを話して話します。
五番目の約束とは指先に引っかけて取り出しますから、指の爪を切っておくことです。六番目に大切なことは、傷を発見することです。ベッサリーに静かに水を注いだり、光に映します。もしも傷を発見したら新しいものを入手します。

七番目、出産を経験すれば（その度に）、又、体重が5kg増減をした時には必ずサイズを計り直してみることが大事な注意点です。八番目に大事なことは、セックスの始まりに装着してしまうことです。

以上の約束ごとの他にも実際にはもっと細かな知識がいります（殺精子ゼリーの種類、量と塗る所、ベッサリーの保管、面の確認、その他）が原則は以上のようなことです。

さて、ベッサリーを選ぶ場合のトラブルについて述べます。それは、入手しにくいことです。このことは女たちにベッサリーに関する本当の知識を手渡していない原因であると同時に、ビルやリングに比較するときに、人気が無い避妊方法なのだった印象すら与えています。入手の具体的な方法論は、次第に述べることにします。
トラブルの第二は、実に個人差があることながらも、実感として多い例です。それは、セックスの後で殺精子ゼリーと精子が流れるのを感じるというものです。ベッサリー自体は、装着感覚が全く無いのですが、セックスの後で感覚的にわずらわしさがあるとすればやはり解決したいものです。具体的な方法ではタンポンかナプキンの使用、又眠る時にはバスタオルが一枚腰の部分にあれば良いことです。

さて、助産婦と保健婦にどのようにして出合うのか？ですが、現在指導実践をしている方は、病院や保健所にもいらっしゃるし、私が在住している東京都、杉並区の場合では地理的に恵まれていて、立川市、杉並区、新宿区、葛飾区には個人的な実践助産婦。渋谷区と武蔵野市には病院でベッサリーの支持をしている所があります。東京以外の地域に関しては残念ながら具体的な情報が手許にありませんが、先にあげた有資格者は指導出来る筈です。ただ、不熱心であったり、むしろリングをすすめる向きもあります。それでも熱心に入手したい気持ちを説明すれば大丈夫だと思えます。

つづく（森）

二度目のお産の記 小平市
十一月はじめ、二人めの子を出産しました。二度目でもあり、お産の様子が分かっているもので、つとめてリラックスしようと考えました。腹筋の力を強くした方がいいのでは？と思ひ、出来るだけまめに働く様心がけていました。ある日、何となく腰のあたりに疲れを感じる。朝から夕方まで体がだるい。そして夜中にキューッとお腹がはって来た。もしかしたらと思ひ、何度もトイレに行く。（はじめての時、完結してもらったら陣痛がやわらいでしまったので）明け方、周期的に痛みはじめ、午前九時に入院。青白い私に、医師が「お産は誰でもするのです。がんばりましょう」と言う。休んでいるうち、だんだん痛みが強くなり、呼吸を深くしたり浅くしたり。いろいろな試すうち、一番ラクなかんじがつかめてきた。陣痛のない時、大の字になって眠る。目をとじて、ジッとお腹の様子を聞く。突然、腰のあたりに地球をのせた様な重みを感じ、それがズーンと下の方へ動く。あわてて看護婦さんと呼ぶ。その間約三十分。
二度目の診察台にのった時、「子宮口全開、あっ、もう間に合わない！」の声。そのとたん羊水がプシューとび出した。それから五分後に赤ん坊がスリと出てきた。ヤッター。
翌朝。鏡の中に、二ノ三才若返った様な、しっとりした顔をみたのですが、退院してから、たちまち二十八才の肌に戻りました。陣痛は痛みと思えばそう感じ、そうでない感覚と思えば痛くない様なものでした。お産は順調であれば病気ではないことを、やっと実感した弱虫な私です。

さあ コンサート だよ!!



十二月二十三日に第一回目、一月十五日に第二回目のコンサート企画チーム会議がもたれました。一回目の集まりの時だされたことは、既成のコンサートでなく、遊びの部分をおきたい。あふふふんとしてやるのだから女と子供をだしたい。曲と曲の間にフィルムを写したり、影絵・人形劇・パントマイムなどをやったりするのをおもしろいのは、なんでもでした。それに、緑日、バザーなど営業も行なうコンサートにしようよ。なんていう意見もでて、まずは、みんなお祭り風コンサートにイメージしてこの日を終える。第二回目の集まりの時は、新しいメンバーも加わって新しい意見がでました。三十才をすぎた女の生きざまを大切にしたいということ、男が作る歌でなく、女が自分のなまの歌をなまの声で歌う歌、そんな歌を聞きたいということがでたのです。いつも子供に囲まれ、子供に忙殺され過ぎていく毎日、ふとそんな時に、一人の女に戻り、自分をみつめ直す女が歌う歌をじっくり聞きたいという意見です。

結局、子供を交えてワァーとやろうという意見と、静かにじっくり歌を聞きたいという意見に分かれてしまいました。イイ場づくりのアンケートでは、「コンサートをやろうよ」という案が圧倒的に多かったのですが、コンサートに対するイメージはまちまちのようです。ただ一回目、二回目とも一致した意見がでました。「できるだけたくさん人の参加が欲しい。地方の人の参加できる部分を作り、できるだけ多くの人と創りあげてゆきたい」ということです。それで、組み立て段階ではできるだけみんなの意見を聞いていこうということ、アンケートを募集することになりました。その前に、コンサートのイメージがふくらむようにと、スタッフ内でてる案を少し提示します。

どんな形でやるかで、場所・イメージ・規模などが違ってくるのでまず形態から、子供を含めたイベント風・女たちのコンサートあり、子供・ミュージカルあり、緑日ありで千人ぐらいの大規模形式。場所は野音。子供を含めずにしみじみと歌を聞く一夜、酒などを飲みながら女の歌をじっくり聞く。中規模三百〜四百人ぐらい。託児は別室。場所は、ライブ・ハウスなど。

大人と子供を別室にて同時に企画。大人は大人向け、子供は子供向けの別々に催す。小規模で人数二百人ぐらい。場所は千駄谷区民館、山手教会など。

①の変型。子供は同席させるが、子供向けの企画は特別にしない。規模・場所とも①と同じ。

その他。

次に、歌い手として呼びたい人に、加藤登紀子、イルカ、横井久美子、中山ラビ、青木とも子、小室等、ナターシャセブン、ヨ

国立婦人教育会館への要望書

(前号合宿報告参照のこと。前文は省略) 第一に、子連れ宿泊利用に関しての館の方針ですが、「地域・夫に預けてくる形が望ましいので、原則として認めないがやむをえない場合のみ認める」ということでしょうか。将来的に望ましい形と、預けられない現状と一体どちらで館は現在運営なさっているのでしょうか。たとえば、国が望ましい形というのなら、その方向に向けてのなんらかの具体的な施策・動きをなさっていらっしゃるのでしょうか。そういう動きなしに、将来的展望をたてまえて言われてしまえば、その将来と現実のはざまに置かれている女達はどうなるのですか。今の実際問題として、特に母子家庭等のレアーケースというまでもなく、ほとんどの場合、ケースバイケースによるのだと思います。でしたら、多くの子持ちの女達にとって前向きな学習意欲をそぐような重たい気持ちにさせるよけいな条件付きははずしてほしいのです。

第二に、印刷物等にまちまちに書かれ、託児や子連れ宿泊に関して館はとも消極的だという印象をうけます。館は乳幼児期の子をもつ女達の学習に関して、どのように考えていらっしゃるのですか。その考え方をどういう形で具体化なさっていらっしゃるのでしょうか、お聞かせ下さい。

第三に、子どもそのものがグループ学習のテーマであればよいというのは一つの例外としてあるわけですが、グループのうち子連れ

ネヤマ・ママコ、中山千夏、泉谷しげる、吉岡しげ美、白鳥恵美子、ジュリー、小野洋子、ジェーン・フオンダ、キャンデリス・バーゲンなどがあげられています。

そしてテーマとしては、女も男も子供も障害のある人も「共に生き」、それでいて女の部分をふわっと出せる、そんなテーマができたらと思っています。「さあ、始めようコンサート」、「ゆれてる私のコンサート」なんていうテーマもあがっています。さあ、あなたはどんなコンサートをイメージして、どんなテーマにしたいと思いますか？みんなが創りあげるコンサートなんだから、なんらかの形でみんなに加わってほしいと思っています。アンケートを募集します。みんなの意見をどんどんだして下さい。(二月末までにアンケートに答えてね。)

★みんなに聞きたいアンケート

①テーマ「コンサート」の大きな流れがつかめるように。

②どんなコンサートをイメージしていますか。それによいアイデアも知らせてね。

③コンサートをやる時期はいつがいいですか。夏か秋か、その他具体的に。

④場所について。料金・収容人員・交通の便などを含めてよい場所があれば教えてね。

⑤出演者「誰の歌を、あるいは出演を望みますか。」

⑥入場料はどのぐらいが適当と思えますか。(千円以内・千五百円・それ以上など)

⑦何人ぐらいの集まりにしたいですか。赤字をださないように採算を考えてね。

⑧詩の募集「自分達の歌、今までとは違った

女の歌、そんな歌が生まれたらと考えてます。詩でも曲でもいいのです。送ってください。

⑨(有名人?)にコネがある人。あの人なら昔、友達だったとかで、出演を頼める人がいれば知らせてください。

⑩その他。なんでもいいしたい事をどうぞ。

第一回目に話し合われたように、イベント風にやるのと、第二回目に話し合われたように、しみじみ聞きたいコンサートをドッキングさせた方がいいのではないかしら。昼は、イベント風に、夜はしみじみと杯をかたむけながら。でも今のところ力量不足に、人手不足。もう子育てを卒業したから、あふふふんてを卒業なんて思ってる人、一緒にやりませんか。人手が足りさえすれば、同時進行で準備しているんな土地でもやれるなんてことも可能になると思うのです。(あふふふんてのキャラバン隊がいろんな地方を回ります。てな具合に)もう私たちは、出発しだしました。今ならイッパアイの可能性を秘めて興味ある人、是非一度集まりに来て下さい。

「三十女の文化論」がでたり、自分たちの歌、唄える歌がないので、見つけたいという人がいたり、ここに載せきれないほどの話が飛びかっているのです。

★これからの予定

二月一日〜末日 アンケート募集。

三月二日 第三回チーム会議(十一時)アンケート募集したものをもとめる。

三月末までに 何回かチーム会議をもち、いつ、どこで、出演者、どんなふうかを決定する。四月からは 出演者交渉を始め、具体的な動きとなる。

(砂田)

がごく少数で、テーマが子どもに無関係な女性の労働や歴史等の場合ダメというのはおかしいと思います。いかなる学習においても、いろいろ相談検討した結果子連れを希望するならば、保障されるべきだと思います。

第四に、託児の利用が二才以上というのはどうしてなのでしょう。おむつ換え・授乳等で労力が大変だというのでしたら、大変だから除外というのではなく、大変だから労力をふやすという前向きな方向で対処してほしいと思います。二才未満児にとってスキップが大事なこと、その時の母親が生き生きと生きている上という、学習欲も含めた人間としてのあたりまえのことが為された状態でこそ活かされると思うのです。二才以下の託児に関しての方法はいろいろと考えられると思います。とにかく、窓口を開いてほしいのです。

第五に、事前には保育に対する考えを伝えるようなアンケートもあった方がよいと思います。又、託児係をグループから出す場合、遠方の場合もあるので、館の近くで保母・ボランティアとは別な形で託児係を紹介・あつせんをお願いできませんか。

第六に、こんなものがほしいという要望として、コンセントカバー、脱衣場にベビーベッド、洗面台の踏み台、砂遊び道具、乳母車、自転車・補助イス、離乳食、ミルク、紙オムツなどがあがりました。御検討下さい。

女性の向上のために設けられたこの施設が真に女性のために活かされるような、こまかな条件つきの幅狭いものではないやわらかな運営を心から望みます。

(古知)

あんふあんて インタビュー



私が生きることに、私が働くこと
Sさんは、一年位先にスナックを、自分の
手で開いてみたいと現在修業中。彼女がスナ
ックを開こうと考えるまでには、いろんな
職種を経験してきた。又「結婚マイホーム
というパターンでは語れない」というSさん
そんなSさんにきいてみました。

矢結婚はいくつの時?

S十九才。二十才で長男を出産。
矢十九才。早いナァーと思ってしまうけど、
その時はどんな生活だった?

S亭主は「男、台所に入るべからず」という
風に育ててきた人なの。私も献身的につく
す方だし。仕事も子供ができるまでという
ことで働いていて、仕事は仕事、家は家と
いう感じで。

矢それが、今、スナックを開こうと思ってい
る。当然、夜遅いし家は家、仕事は仕事と
いうわりきり方はできないし、結婚してか
ら十年の変化ってかなりあったんだらうね。
S子供が生まれて、歩く頃になって、家にい
る事ができなかったのね。親が近くにいろ

からパートで働きにいったって、男と女これ
いいのかなー不公平じゃないかとも思っ
ていたし。

矢あんふあんてに入ったのも、そのころ?

S二人目が生まれて、団地の病院で何かの本
に載っていたのを見たの。私の場合、今ま
でとは違った人種に会えるんじゃないかと
軽い気持ちでグループに入ってしまった。

矢あんふあんてに入った事で、特にSさんの
グループの人達個性の強い人が多いという
のか、女は家、男は外にという考え方は
ない人が多かったでしょう。そんな中でど
んな感じだった?

Sグループで会を重ねていくたびに、私は生
き生きとしてきたのね。今まで、漠然とし
ていた女の生き方みたいなものが、はっき
りしてきた。やっぱり男と女が今までのパ
ターンでくるのではなくて、女も自分自身
を生きるべきなんだと確信できるようにな
った。

矢それからの仕事は?

Sその時、臨時で保母さんやっていて、好き
な仕事だし保母さんになろうかと思った。
でも、高校中退でしょう。資格とるのにな
まうかなくて断念して、保険の外交を二
年少しと、会社の経理係を一年位、その後
続けたわけ。

矢その保険の外交や経理の仕事はSさんには
ピッタリじゃなかったわけ?

S対人関係はいいんだけど、保険の仕事は
自分で探してきて、カタチのないものを売
るわけでしょう。私にはむいていない。
矢経理の事務は?

Sほんとう、十九才には早まったという
感じね。

矢こんどスナック開くこと、亭主はどんな受
けとめ方をしている?

S特別には、何も言っていないけど、私こうや
るけど協力してよと

矢それで済み?

S本当は、私は身軽になりたいと思うの。今
の私には亭主と子供、マイホームこれです
というイメージがなくて。家の中の好きき
だけれど、それでは生きていけない自分が
あるでしょう。自分はこの風な事やり
たいと思ったら私は私なりにやるしかない
し。

矢子供には?

S子供は子供の母親像が強くなると思う。で
も私の生き方を子供なりにみていて欲しい
し、それしかないとも思っているし。

矢じゃ、夫婦としては?

S今は別居結婚したいにできれば理想よね。
自分も相手も尊重し合っていて、お互いに
アツチ、コッチいって、それでいて男
と女でいて緊張感があればそれでいいと思
うから。夫婦でもあくまでも自分自身でし
よう。

矢スナックを開きたいというのが、何かSさ
んの感じ方そのままだが現われていると思
うけど……

S人とお酒のんで話して、そんな場を自分で
やろうと思うの。周りにいろんな人がいて
協力してもらえば資金も半分ですむし。こ
れが最終的にやりたい事ではないかもしれ
ないけど、でも体が動くうちは働いている。

いろいろ難しく考えずに自分が本当に好き
な物にぶつかっていきその途中でいいし
……

矢Sさんには家庭とか家ってどんなもの?

Sそうね。夜、歩いていて、家のあたりが
みえると暖かさを感じる。でも一家揃って
どこかにいくという感じはあまりないのね。
矢働くことは?

S私は小さい時から自分の欲しい物は自分で
手に入れるしかないんだと教えられてきた。
なんのために働くのかというより、働く事
が身についている。小さい時、隣のおじさ
んの肩をたたくと二十円もらえた。肩をた
たけば二十円もらえる。家庭の事情もあっ
たけど、小づかいも親をあてにしていなか
ったし、自分で手にしていくという感じが
自然だったのね。

「Sさんはとても強い人だよ」と、Sさん
の友人がいました。彼女の強さは小さい時
からなんでも自分で手に入れていく、それが
身となって、そんなところが強さにつな
がるのかもしれない……とその友人の評です。
自分で手に入れていくその反対に、最終的に
は一人で生きていくことをよく知っていると
も思いましたが……

(矢郷)



Sこれが生きがいって感じにならなくて、斯
人が明日きても、すぐに出来る。そんな仕
事なんだと思ったら自分が生きている働い
ているという実感なくてね。

矢Sさんは、いろいろ体験してたしかめてい
く人みたいね。

Sそうね。やってみるまでわからない。どん
なことも。新しくこれをするって考える時
はすごく燃えていて、これをおぼえようと
思っている時は最高にいいけど、イザ、お
ぼえてしまうと、あー、こんなものかと手
ごたえがなくなっちゃうのね。

矢それでも、めげないで……

S私は楽天家だからめげずに又、次のものを
探していく。できるか、できないか体でた
めしていけないとダメだから、体験しなが
らいろいろ捨てていくやり方。だめなら次
の事にサッと切りかえていくし。

矢好奇心が強いのかな。そんなところで人
と会うって言うことがすごく好きみたいね。
Sそう。いろんな人と話をして、私自身変
えてきたことがいっぱいあるし、私自身変
えてきたと思うの。

矢その変えてきた中に結婚観があって、結婚
に対する考え方が変わったことって大きいん
だらうナァーと思うけど……

S十九才で結婚した時はわからなかった。親
の手前とかいろんなものがあるって、でも今
私は私でしかない私の生き方をやってい
くしかないんだと思う。

矢十九才の結婚は早かったって感じね。三十
才になってつかめた自分ってそういう意味
では、私なんかも「本当かな」と思うし。

図書コーナー

▲お産革命▼

藤田真一著 朝日新聞社刊 千二百円
朝日新聞に連載されてきたが、著者をして、あの連載が終わった時の知識を最低もってあの連載を始めたらと言わしめています。私も最低このくらいの知識をもって、子供を生んでいたらと思いました。
(八千代市)

▲筑豊のこどもたち▼

土門拳写真集 築地書館刊
一九五九年に出版された写真集の再版である。やれ石油がなくなるの、原発だのと騒がれている時にこの写真集は、日本がいかに間違った道を歩んできたかを思い知らせてくれる。
(秋元)

▲新エミール▼

毛利子来著 築地書房刊 九五〇円
これはおすすめ本です。一読の価値が大いにあります。私のスボラ育児も勇気づけられる本なのです。他の育児書を読む前に、まずこれを読んでほしいと思います。育児書にたよらないで、まず子どもを見ようと言っています。育児の共同化という事に対してもあるふんて的ですし、男にはめづらしく女の立場を理解しています。父親に言いたいことも、的確に書いてあります。
(神田)

子どもが
みえて
ますか？



共同保育と学校

世田谷区

我が家の息子は三年保育の幼稚園に二年間行き、最後の一年は保育園生活を送る。娘は三年半保育園に通い、最後の一年は共同保育とかけもちで通す。それ以前にも祖師谷にあったオレンジハウスというウーマンリブの人達がやっていた共同保育に少々関わり、出たり入ったりしていたので、二人とも小さい時から集団生活に無理やり入れられ、電車に乗ったり、バスを乗り継いで夕方遅く帰ってくる日が毎日だった。彼らはいい迷惑だ、そんな遠くに行くより近所の友達とのんびり遊んでいた方がいいと思っていたのだらうが、親としては何とか子供を離したく、又働きたいというよりは自分の存在を家の中とか子供との間だけに位置づけたくなかったのである。二人とも学校へ行くようになり、私自身はねこじやらの協力者という形で今なお共同保育に関わっているのだが、ここ当分はこの世界に埋没しようと考えている。というのも、私自身が十年以上保育に携わった(子供が生まれる以前も、下町のスラム街に建てられたマンモス保育園と、当時としては珍らしい私費でやっている児童保育に、保母として働いていた)中で、近所の母親が互いに子供を見合おうという共同保育が最も子供にとっていい、こいのいい形ではないかと思うからである。

最近思う事

藤沢市

親子二人で始めた生活も、もうまる一年が過ぎて行きました。子供は保育園に通う事に慣れ、私も職場で、どうにか働き始めて八ヶ月経ちました。

母子家庭という事で優先的に入れた公立保育所ですが、今私にとって一つの悩みの種でもあるのです。例えば、一日の子供のようすを保母さんに尋ねても、「元気だったみたいで」という判を押したような答えか、「引き次ぎの先生は何も言っていないかった」という頼りない返答あるのみ、父母会で、保母数をもっと増して欲しいという意見も、市で決められている事だから、という園長のコトバでオシマイ。最近では、子供のしつけ、という事で日常生活の中で、色々な事をどのくらいできるか、あるいは、させているか、というアンケートまで配られています。

又、男の子は男らしく、女の子は女らしく、というのは朝飯前でもかり通っているらしく、先日息子は「A子ちゃん髪が短かいから男の子みたいだね」と言い出すしまつです。

それなら小学校、中学校はどうなのかなと考えてみると、義務教育という事で、それは全国的に普及しているわけですが(この義務教育も、学校教育法の中で、義務があるとされているだけで、子供を行かせない場合は千円以下の罰金になっているだけです。ただ千円は払えても、世間が加える攻撃は生々しいものではないと想像できますが)。

しかし、この公教育が国の利益と一致させる人々を生み出す方向性のもとに指導されて

私の子供の場合は、あまりにも時期が早すぎ、近所に同様の考えの人すらいすに、あちこちに振り回してしまっただが、共同保育の歴史もやっと落ち着き、地域に根を下ろし、母親以外にも母親OG、おじいさん、おばあさん、おばさん、大学生、小学生などが幼児を見合うという形になってきたように思われる。ねこじやらの場合は、自主幼稚園の開始、ひろばとの合同保育、遊ぼう会とのイベント合流、男性の保育協力者、又児童保育室の午前中利用など様々な広がりがあるが、学校はあくまでも知識を教えこむところ、点数評価をするところのようである。娘の方は、国語、算数、理科、社会よりは、体育、音楽、図工が得意である。今年から彼女の学校は絶対評価から総体評価になり、クラスの何%が5ではなく、国語ならいくつもの項目、例えば、文章を読んで理解出来るか、よい、ふつう、もうすこしに分かれ、生徒個人個人によってどこが理解出来ないか判るようになっていく。娘は「Tさんはよいが14もある、私も三学期は上の方(主要四教科の事)をよいにするようにがんばる」と言う。私としては全てふつうであらばいいのだが、子供同士はよいの数によってお互いに評価し合う。いくら通知票が成長の記録と呼ばれ、内容が変っても点数評価が変らないかぎり、人間の評価もそれに従う。

一方、共同保育ではどうだろう。「ひろば」のH君は四月から学校だけあって体も大きく、力も強いし、声もドスがきいている。テレビも大人の番組まで見ていて時々大人のような

いるとしたら、それは一体どういう事になるのだろうか。「大げさな」と他人は言うかもしれないが、「就学前健康診断」などは、ほんのその一端の姿を現わしているにすぎないのです。

「教育」は共に教え合い、共に育て合うもので、一方的に押しつけられたものを教育とは決して言えないはずだ。だからこそ母親、あるいは父親が「ちょっと待ってください」と言い、言い続ける事がない限り(これは教育以外にも言える事ですが)「本来の教育」として私達の手に取り戻せる日は永遠にやって来ないと言え、言えるのではないのでしょうか。

家庭科の男女共修をすすめる会議

大田区

一人の男と住み始めた
子供が生まれた
家庭と呼ばれるらしいものが
この頃できてきた

そんなこの頃の暮らしの中で思うのは、社会が(それまでの自分も含めて)主張を持っていない子供達に対して(乳幼児だったり障害児だったり)全然存在感なんか認めていないっていうことと、洗濯をして洗って干してたたんで、タンスにしまっただけ、またとりだして子供に着せて、ボタンをつけて、ほつれをなおして、アイロンをかけて、新聞のちらしをにらんで、子供をおぶって買物に行く。製造年月日と添加物の表示を見て、献立と昨夜の余りものを考えながら少しづつサイフからお金を出す。食事の下ごしらえをする。子供にお

ことを言う。だけど犬には弱くて、ちょっと付いてきただけで顔色を変えて逃げてくる。なんんだ大したことないな、ボクと同じだ。でも大きな声で言うのはやめよう。又、ボクならぐらゐるから——などとすっかり理解しているM君は黙っているが、T君はすぐに口に出してしまい、ボカボカとやられる。又、彼らは実に色々な知識を仕入れてくる。「一番はじめはえらい人、二は肉やの大どろぼう、三は板のお姫様」とワンパク坊主が言うのと、「ちがうよ、三は坂から落っこって、大事な金タマすりむいて、赤チンぬったらソーセイジ、おいしいからって食べちゃった」と普段おとなしい女の子が言う。ある日、広い羽根木公園に地図や矢印を書いた紙をはり、木の根元にアメを埋めて宝探しをやった。子供達に内緒でやったので、全く私が隠したなどと疑わずに無中で探しまわり、最終的に見つけたH君はその日の英雄であった。雪の降った翌日はかき氷やさんごっこをした。緑色の絵の具と泥をまぜてとてもおいしそうなる宇治金時を作っていたR君の生き生きとした姿。

彼らは皆学校へ行き、様々な波にもまれるのである。波の中からはい上るのは自分の力であるが、共同保育はその力を幼児期に培っているなどとおぼろげなやめよう。共同保育はその中の子供達が生き生きと遊んでいけばいいのだと思う。むしろ母親の方がこの時期に就学児検診を拒否するなどの力をたくわえておくべきなのだろう。その後のことは、問題が起こるたびに親も子も悩み、対処していくよりほかないのであろう。

やつ、食事の用意し、食べさせる。風呂を洗う、水を入れる、沸かす、子供を入れる。掃除する、フトンを敷く、バジャマに着換えさせて寝かせる。夫の食事。茶碗を洗ってまた使って、汚してふいて汚して、ついでに笑って泣いてという日々の暮らしが、まるでやってなきがごとくにしか取り扱われていないことだ。

どんなきれいで言われても、資本主義経済であって貨幣経済なんだから、その中でやってもやっても一円にもならないことを、一生それだけやっていけなくていいことは何かにされていくような気がしないだろうか。それはさておいても「主婦です」なんて言うのと「遊んでいる」なんていわれて肩身のせまい思いをしなきゃいけないのも本当に頭にくる。本当に毎日の暮らしってばかにされていると思う。「暮らしの手帳」という本が好きなのですが、日々の暮らしが、生活が、あつてこそ人間であり社会なのだと言いたいのです。さて、さて、「家庭科の男女共修を進める会」というのがあることを知り、一月十九日渋谷の婦人会館へさっそく行ってきました。

講演は、会員でもある樋口恵子さんの「海外の女性と家庭生活」というものでしたが、講演の後、皆から多くの質問や論議が出され、かなり盛り上がりつつある雰囲気で、男の人も質問したりしていました。

さて、家庭科というと、どんなことを思いましますか。魅力のない受験戦争下ではばかにされている教科、グラウンドでサッカーする男子をうらやましくながめながら半年で一枚ブラウスを縫ったことでしょうか。

ミニコミ紹介

「消費者リポート」 日本消費者連盟

合成洗剤をはじめ、給食パンで問題になっている臭素酸カリ、農薬や輸入レモンのことなど、あらゆる公害について、商業新聞では決してのせない本当の情報を知らせることができまふ。それだけでなく、洗剤のウソツキCMを告発したり、超音波美顔器不当表示摘発にのりだしたり、力強い草の根消費者運動を展開している活動のようすもよくわかります。安全なものさがし求めていくと同時にキケンなもの有害なものは徹底的に排除していかなくてはダメなんだなあとつくづく感じます。月三回、七の日発行。年間三五〇〇円前納郵便払込口座「東京3の22957 日本消費者連盟」連絡先・東京都目黒区中目黒3の13の29 TEL 03(711)7766 (静岡市)

「離婚した女」

157のアンケートから
児童扶養手当を18歳に引上げる会
単なるアンケート集計も、国で出している白書では確かにされていないが、このパンフには統計的なものだけでなく、劣悪な労働条件、保育条件の中で、仕事・家事・育児にマメツし、それでも離婚してよかったと言っている女たちからの現状の告発が網羅されている。定価六百元送料百二十円。広島市紙園町長束837品山方同会 郵便為替で。(山田)

情報コーナー

●譲ります

ひな人形、お祝いがだぶった為一台お譲り致します。七段飾り一式で四万一千円です。

●情報交換しませんか

共同保育をしながら、保育の資格をとろうと思います。通信教育などで勉強された方の体験談、もし就職した場合の状況など保育さんに関する情報をお聞かせ下さい。

●学校給食・保育園の給食から合成洗剤と食品添加物を追放する運動をはじめようと思つてます。各地で同じ考えの方、連絡会をつくらせて情報交換しませんか。

●グループつくりました

たった一人のグループですが、いちおう下田グループが名のりをあげました。

●上映します
「さくらんぼ ぼうや」

「放課後の子供達」

日時 3月2日(日)
第一部 午後1時半/2時半
第二部 午後3時/4時
場所 羽村町公民館 第一集会所
交通 青梅線 羽村駅より徒歩5分
託児 一部・二部で五十名 但し三歳以下
(三歳以上は一緒にご覧下さい。)
料金 無料
待望の「さくらんぼ坊や」上映。わが子を幼稚園・保育園に入園させようと考えている人・もうすでに通園させている人・もう一度考えてみませんか。こんなにすばらしい保育園があることあなた知ってましたか。
連絡先

●集まってみませんか

一カ月に一度ぐらいで、離婚・別居・その他の女達が集まって「おしゃべり会」原宿でやっています。悩み・もめ事・何でも吐き出してしまおう!!という事で関心のある方は連絡下さい。「児童扶養手当を十八歳に引き上げる会」

●子どもお泊り会(映画もやります)

2月23日(出)PM4時/2月24日(日)AM11時
電話予約先着10名まで。二歳以上です。一人三千円。姉妹・兄弟の場合は五千円です。
クリスマスパーティーは好評でした。今度も楽しいお泊り会をやります。

たべものはなし

記録的な暖かさ/なんと騒がれた冬も、やっとならして寒さをもの、それなら「おでん」といように、冬の夜のおでんで一杯、なんともこたえられませんか。

K よく煮こんであるわね。おいしそう!私、はんぺん、つみれなんか大好き。子どもも喜ぶし、食べさせやすいからよく買って使うのよ。
私も好きだったんだけど、今日の新聞読まなかったの?
仕事で忙しくて読むヒマなかったけど、かまぼこなんかの練りもの、ゆでめんの漂白や殺菌剤として使われている過酸化水素というものが発がん性があることがわかったらしいの。厚生省が食品加工業者に使用禁止の通達を出したんだって。記事を読み切ったから読んでみたら、へえ、どれどれ。

M 発がん性の程度は非常に少ないと書いてあるけれど、私なんか好物だから酒のさかなにかまぼこ、お弁当のおかずになさつてあげ、なんて具合にずいぶん食べつづけてきたわけだし。いくら害が少なくないといつても、害のあるものを長く食べつづけたら、チリもつもれば、山となる。式で恐ろしいことよね。それにここに書いてあるけれど、過酸化水素を含む食品添加物二十一品目について、遺伝毒性が

K 発がん性の程度は非常に少ないと書いてあるけれど、私なんか好物だから酒のさかなにかまぼこ、お弁当のおかずになさつてあげ、なんて具合にずいぶん食べつづけてきたわけだし。いくら害が少なくないといつても、害のあるものを長く食べつづけたら、チリもつもれば、山となる。式で恐ろしいことよね。それにここに書いてあるけれど、過酸化水素を含む食品添加物二十一品目について、遺伝毒性が

M

あるから使用禁止するように日本消費者連盟が去年の夏に厚生省に申し入れてあったらしいけれど、他の二十品目はどうなるのかしら。
食品添加物として現在許可されているのは三百三十四品目つきいていたけれどそのうち、安全性の再評価がされていなののは二百五十品目もあるんですって。要するに、私達が毎日口に入れていっているのはほとんど疑わしいってことになるじゃない。きのうまでセッセと子どもに食べさせてつづけてきたものが、今日から突然害があるから食べないように、といわれても困るのよ。バカにしてるわよ。
「権威のある実験」だと「疑わしきは使用せず」なんて調子よく使用禁止をするくせに、民間の良心ある人達が出している実験や報告や警告は無視しつづけていたんだから。
でもさ、毎日何も食べずにいられるわけでもないし、まして準主食とかいわれているものも害あり、ということじゃどうしたらいいのかしら。
便利だからといって、うどんやスパゲティまで他人がゆでたものを食べようとすることから考え直さなくちゃ。害のあるものばかり、何を食べてもいいのよ!とわめいたり、ガックリする前に、自分達の食生活を見直すことから始めるしかないと思うわ。

K

必要とされていたものが本場に必要なのかどうかとか、便利さのウラには大きなツケがあるってことね。(置田)

M

K 必要とされていたものが本場に必要なのかどうかとか、便利さのウラには大きなツケがあるってことね。(置田)

K

必要とされていたものが本場に必要なのかどうかとか、便利さのウラには大きなツケがあるってことね。(置田)

スタッフから

●この間の「カレンダー買って下さい」の中で訂正があります。滝の川学園は10歳・23歳位までの「重度の」ではなく、軽度の人からいろいろいます。また作業班は学令期をすぎた過労児の人たちです。そして農作業や廃品回収などもやっているそうです。(永田)

(山田)

●年末・年始で事務処理が遅れがちですが、一月から、古知だけじゃなくて、矢郷も事務局の方を手伝うようになったので、きつとスムーズにいくでしょう。最初は少々手合いがあるかもしれないが、ユルサレテね。

●今月号のミニコミ紹介にもある日本消費者連盟の消費者リポートの69年から79年までをまとめたもの「草の根運動10年——すこやか

2月6日(水)	小学校の会(1時半〜)
2月12日(火)	4・5歳児の会(10時〜)
2月17日(日)	「子どもを預ける」読書会
2月20日(水)	2・3歳児の会
2月23日(土)	3月号投稿メ切り
2月24日(日)	子どもお泊り会
2月27日(水)	3月号編集会議
3月2日(日)	0・1歳児の会
3月5日(水)	コンサート企画チーム会議
3月8日(土)	小学校の会
3月11日(火)	3月号のヨガの会、6日・13日・20日・27日
3月11日(火)	3月号発送
3月20日(水)	4・5歳児の会
3月23日(土)	4月号投稿メ切り
3月23日(日)	4月号編集会議

●80年になりました。
山田「じみちにしっかり」
砂田「変りたいけど変らないだろう」
神田「金が欲しい」
大山「保育室グリーンではなくて区立の保育園のことを、ちゃんとやりたい」
古知「なんとかマイペースで……」
矢郷「サァーやっとなにやら動き出した」という感じ。80年代はそれをどうカタチにするかという感じ。そんな第一発としてコンサートをやろうと意気こんでおります。30代の女の歌もほしいし、30代の「これ!!」という女にもめぐりあいたい。ないんですよね30歳代の女の文化って……。

(矢郷)



事務局から

スケジュールメモ

★入会申し込みは切手三百円分同封し、住所・氏名・電話番号・郵便番号を記入。宛先は……
★参加費は一カ月三百円。六カ月以上まとめて郵便局で。払込先は表紙に。
★事務局の電話受付は原則として月・金の1〜3時です。御協力を。新事務局の電話番号は……